

# 事業所健診検査一覧

検査項目(内容)		法定健診		簡易健診		
		35歳 40歳以上 雇用時	35歳未満 36～39歳			
コース名称		Aコース	Bコース	Cコース		
診察等	既往歴・業務歴および喫煙歴・服薬歴の調査		○	○	○	
	自覚症状および他覚症状の有無の調査		○	○	○	
	身長		○	○	○	
	体重		○	○	○	
	腹囲		○			
	視力		○	○		
	聴力(1000Hz/4000Hz)		○	○		
	血圧		○	○	○	
	内科診察		○	○	○	
尿検査	尿糖	尿中のブドウ糖量を調べることで、糖尿病発見の手がかりとします。	○	○	○	
	尿蛋白	ネフローゼ・腎炎やその他の泌尿器系疾患を調べます。	○	○	○	
	尿潜血	潜血時には、尿路の炎症や結石、腫瘍などが疑われます。	○	○	○	
血液検査	貧血	赤血球数	酸素を肺から各組織へ運ぶ働きを持っており、貧血で減少し、赤血球増多症という病気で増加します。	○		
		白血球数	細菌感染症があると一般に白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。	○		
		血小板数	血小板数が少ないと怪我などの出血で血がすぐに止まらなくなります。一方で、異常に血小板が多いと血栓が起きやすくなります。	○		
		血色素	ヘモグロビンとよばれ、赤血球中の酸素を運ぶタンパクの一種で、鉄と結合しており、貧血で減少します。	○		
		ヘマトクリット	いわゆる「血液の濃さ」を表し、貧血で低下します。	○		
	肝機能	GOT	急性肝炎や、アルコール性肝障害などで上昇します。	○		
		GPT	慢性肝炎や脂肪肝などで上昇します。	○		
		γ-GTP	肝臓や胆管の細胞が壊れているかを示す一つの指標になります。	○		
	脂質	HDLコレステロール	善玉コレステロールのことで、高値であるほど動脈硬化を抑えます。	○		
		LDLコレステロール	悪玉コレステロールのことで、高値であるほど動脈硬化を促進します。	○		
		中性脂肪	脂質代謝を判定し、値が基準値より高いと動脈硬化を促進します。	○		
	糖	空腹時血糖	血液中のブドウ糖量を調べることで、糖尿病発見の手がかりとします。	○		
		ヘモグロビンA1c	1～3か月の平均的血糖レベルを反映します。 (空腹時血糖の代替検査)			
心肺機能	心電図(12誘導)		○			
	胸部X線		○	○		
健診費用(税込)		9,720円	6,480円	3,240円		

※上記金額には、文書作成料が含まれておりますが、書式によっては別途費用がかかります。  
 ※各コースに別途検査項目を付加することも可能です。(付加検査は別途費用がかかります)